

## 1. 協定校とのオンライン言語交流プログラム第 2 回（デュースブルクエッセン大学・ドイツ）を実施しました

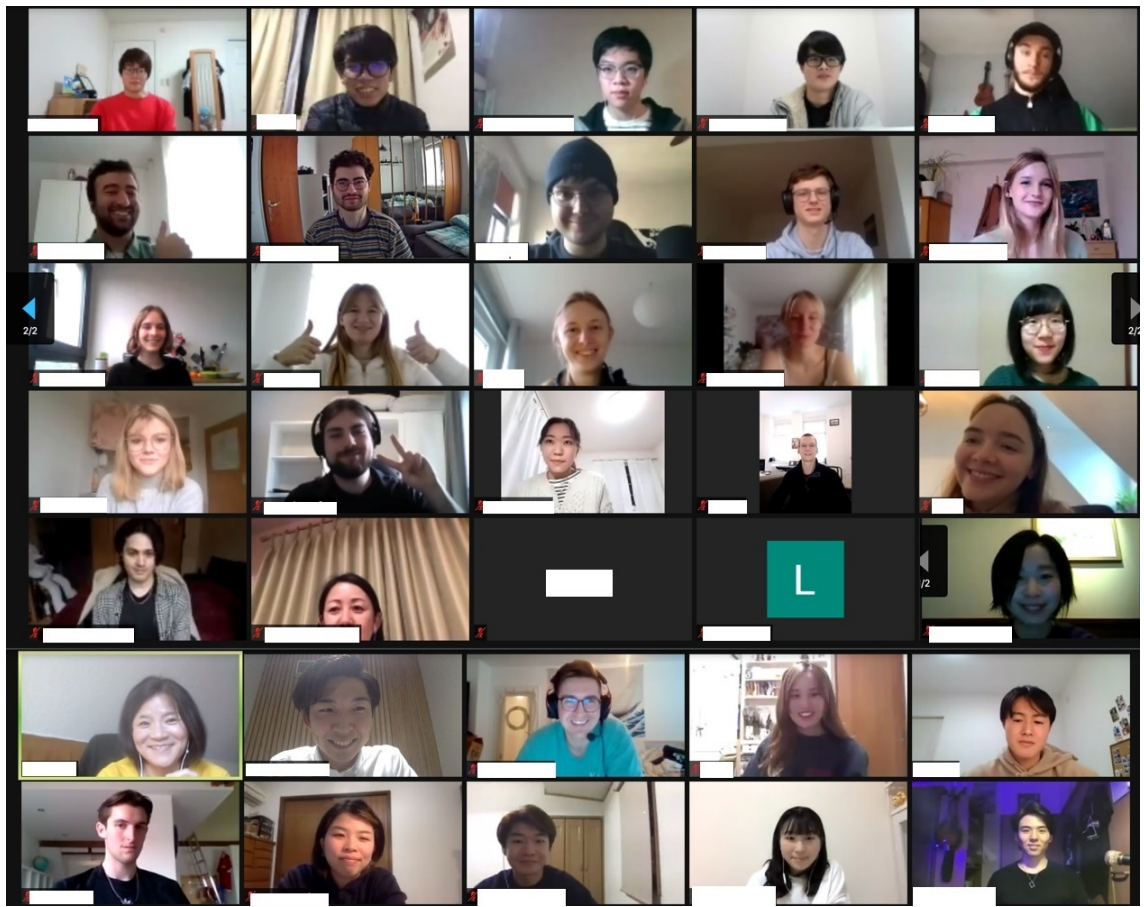
### 【内容】

10月のタスマニア大学（オーストラリア）との実施に続き、国際センターでは協定校とのオンライン国際交流会の第2回として11月30日（月）に本学協定校であるデュースブルク・エッセン大学（ドイツ）とオンライン言語交流プログラムを実施しました。本プログラムは、学生の語学力向上およびコロナ禍によって減少した国際交流の場を提供する事を目的に実施され、本学からは2021年度派遣交換留学予定の学生及び一般募集からの参加学生16名、デュースブルク・エッセン大学からは日本語科目履修生17名、計33名の学生が参加しました。

参加学生は、当日3～4名の小グループに分かれ、それぞれの学生が用意した質問やトピックについて、日本語と英語を交えたLanguage Exchange（言語交流）を行いました。最初はオンライン特有の緊張感があったものの、徐々にお互いの緊張が解け、学校生活や趣味といったトピックから消費税増税等の政治的テーマなどについても話している様子が見受けられ、本学からの学生が英語で言葉が詰まった際には、デュースブルク・エッセン大学の学生が日本語でサポートするなど、Language Exchange ならではの光景もありました。その他にも、双方の学生からそれぞれの大学についての紹介や、大学が所在している地域についてのプレゼンテーションも行われました。また、交流会の途中と最後には、学生同士が今後も交流を続けることができるよう連絡先交換の時間を設けたことにより、参加した学生はその時間を使い、SNSでのグループ作成等、積極的に連絡先交換を行っていました。

本学の学生からは「交流会全体を通してとても雰囲気が良く、最初は不安だったがまた参加したいと思った」という声や、「日本語を交えての交流だったので、交流や英語を話すことへの敷居が低くて楽しかったです」といった感想が挙がり、デュースブルク・エッセン大学の学生からは「異文化交流に興味がある学生と知り合える機会があつてとても良かった」といったコメントがありました。

一向に収まらないコロナ渦により大きく減少してしまっている国際交流の機会ですが、国際センターでは今回のようなオンライン国際交流の機会は引き続き企画・実施していく予定ですので、留学等の国際的関心がある学生の皆さんにはぜひこのような機会に参加してもらい、今後の留学、国際交流に向けて活かしてもらえることを期待します。



## 2. 神大卒業生ゲストスピーカーによる国際派就職トークイベントを実施しました

### 【内容】

国際センターが運営する「オンライン国際交流Café (Zoom)」では、2名の神奈川大学卒業生をゲストに招き、国際派就職のかなえ方についてご自身の経験とともにご紹介いただきました。

第1回目の12月4日(金)は、外資系企業で様々な国籍の同僚や顧客と仕事をしているヴァンデンベルグいずみさんより、日本企業と外資系企業の社風の違い、常識が異なる国の企業と橋渡しをする際の苦勞、日本人である自分に求められる資質などについてお話しいただきました。「求めるキャリアは、人とのつながりからもたらされることが多い。大切だと思った人とのつながり(ネットワークキング)を是非大事にしてほしい」という温かいメッセージを後輩たちに残してくれました。

第2回目の12月11日(金)は、外務省在外公館派遣員やNGOでの仕事を通じて平和構築に携わってきた神永辰則さんをゲストに迎え、豊富な写真とともに平和構築とはどのような活動を指すか、ミャンマーで実際に行った就労支援などについてお話しいただきました。自分の興味関心と問題意識を道標にキャリアの選択や大学院での学びを続けてきた神永さんの姿に、国際派就職実現の鍵は自分の中にあると気づく貴重な機会となりました。

このトークイベントに参加した学生が将来に向けて何かヒントを得て、自分にとって理想のキャリアを築いていってくれることを願います。

オンライン 国際交流カフェ 

# Special Talk

神大卒業生による国際派就職のかなえ方！

第一弾 12/4 (金)  
第二弾 12/11 (金)  
12:45~13:20 @Zoom

Zoomログイン情報・詳細は  
Webステーションでcheck!

**ヴァンデンベルグいずみさん 12/4 (金)**

神奈川大学外国語学部英語英文学科2012年卒。イギリス、オーストラリア、ニュージーランドで学生時代を過ごした後、英語教育のコーディネーター・外国人向けイベントの企画運営のプロとして業務経験を積む。卒業後、国際弁護士協会の事務局でウェブサイト運営を担当。その縁で現職へ転職。様々な職種や広範囲にわたる海外での経験、言語・コミュニケーション力を活かし日本と世界との架け橋となる存在として活躍。グローバルな同僚や顧客とともにコロナ前は世界を飛び回り、コロナ禍ではオンラインで世界と繋がる。



**神永辰則さん 12/11 (金)**

神奈川大学人間科学部2011年卒。外務省在外公館派遣員を経て、2016年にAPS(10期)に参加。2017年に国連平和大学平和紛争学部(国際平和学)とアテネオ・デ・マニラ大学政治科学部(国際政治学)の両修士号を取得。大学院卒業後は2018年2月から国際NGO「ブリッジ エーシア ジャパン」に勤務し、現在はプログラム・マネージャーとしてミャンマーに赴任している。2021年1月より、外務省JPO(Junior Professional Officer)派遣制度を通じて、国際移住機関スリランカ事務所勤務予定。

